

事務事業名	粗大ごみ収集運搬事業		所属部局	市民部	単位番号	4108				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	澤口政彦				
			所属担当	ごみ減量化推進担当	担当者名	深澤 肇				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	20	快適生活環境の整備	事業区分	01	一般	04	02	02	020	05
施策	33	生活環境の保全		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
法令根拠			廃棄物の処理及び清掃に関する法律 南アルプス市廃棄物の処理及び清掃に関する条例							
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 可燃・不燃粗大ごみの収集事業。5地区(芦安地区は除く。)については、年4回(可燃2回・不燃2回)収集を行っている。なお、芦安地区においては、年2回(可燃、不燃同時に)実施している。 ※リサイクルセンター(資源回収センター)の開設に伴い、粗大ごみ収集回数の見直しを行い、14回とし、収集運搬の委託料を減額し、センターの運営費に当てる。また、平成25年度には新規事業として市北部へ資源回収センターを設置できるよう計画を進める。		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
事業の概要			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
			消耗品費 10 不動産借上料 740							
			食糧費 0 その他原材料費 30							
			手数料 479							
			その他委託料 7,231							
			計 8,490							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	検討委員会での協議により市内全域、年間8回の収集を行う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	検討委員会での協議により市内全域、年間8回の収集を行う。		名称	単位
27年度活動予定	検討委員会での協議により市内全域、年間8回の収集を行う。		ア 粗大ごみの量	kg
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民業者	⇒	イ 粗大ごみ収集の回数	回
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	粗大ごみの適正排出と適正処理。排出量の抑制を推進する。	⇒	ウ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生活環境の保全と予算削減	⇒	名称	単位
			ア 人口	人
			イ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア 粗大ごみ収集回数	回
			イ 粗大ごみ収集の量	kg
			ウ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア 満足度	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	84	542	749	500	500			
		一般財源	千円	21,637	13,425	7,741	8,355	8,355			
		事業費計(A)	千円	21,721	13,967	8,490	8,855	8,855	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7			
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40			
		人件費計(B)	千円	182	182	182	182	182	0	0	
		(A)+(B)	千円	21,903	14,149	8,672	9,037	9,037	0	0	
活動指標	活動指標	ア	kg	201,240.0	792,190.0	700,000.0	700,000.0	700,000.0			
		イ	回	31.0	14.0	14.0	14.0	14.0			
		ウ									
対象指標	対象指標	ア	人	71,012.0	72,593.0	72,963.0	72,963.0	72,963.0			
		イ									
		ウ									
成果指標	成果指標	ア	回	31.0	18.0	18.0	18.0	18.0			
		イ	kg	201,240.0	792,190.0	700,000.0	700,000.0	700,000.0			
		ウ									
上位成果指標	上位成果指標	ア	%								
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併以前の旧町村時代より実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	ごみの分別収集に対する意識は向上している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特にない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	粗大ごみ収集については、各地区4回実施(芦安地区は、2回。若草地区は、地区7箇所収集が2回)しているが、統一可能か協議・検討していく。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	南部、北部資源回収センターの利用を考慮し収集回数を14回にした。

事務事業名	粗大ごみ収集運搬事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 一般廃棄物の収集・運搬については、制度により市が行わなければならない。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 一般廃棄物の収集・運搬については、制度により市が行わなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 粗大ごみ収集方法について、各地区によって違いがある。検討委員会において議題として取り上げ、統一化を図る。また、外部委託による方法についても対応が可能か研究する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 収集方法等の統一化及び職員が全ての収集時に出労していることについて、業務委託が可能か検討する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 一般家庭可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 一般廃棄物としての取扱いは一緒である。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 一般家庭の良好な生活環境が保てない。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 職員・環境美化員の出労に対する費用と委託業者との費用について検討する価値はある。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務的な計上予算。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市全域、全ての市民が対象となっているが、自治会未加入の市民に対応できる施設の検討を行う。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	類似事業の集約によって、事務・経費を有効活用する。また、自治会未加入者は、回覧・カレンダー等の利用が出来ない。 一般廃棄物収集運搬事業の一つとして、誰でも排出できる施設の検討にも取り組んでいく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 一般廃棄物収集運搬事業として統一。 ・滝沢川クリーン事業、一般家庭可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬事業、動物死骸処理事業 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 予算科目の集約 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					